環境問題への関心深めよう

ごみを減らす絵画児童コンクール作品発表

受賞	学校名	氏名
市長賞	阿蘇小５年	児玉　晴一（はるひ）
議長賞	一の宮小４年	後藤　祐風子（ゆかこ）
教育長賞	内牧小４年	牧　風歌（ふうか）
優秀賞	波野小６年	志賀　蓮星（れんせい）
	波野小５年	井　琴望（ことみ）
	内牧小５年	渡辺　花（はな）
	一の宮小５年	坂本　泰増（たいぞう）
	阿蘇西小４年	下村　紗愛（さえ）

令和３年度阿蘇市ごみを減らす絵画児童作品コンクールの審査会が行われ、小学４～６年生が応募した３７３点の中から８作品が入賞しました。

今年で14回目となる同コンクールは、ごみ問題や環境への関心を深め、正しい認識を持ち成長してもらおうと市が毎年実施しています。

各賞の受賞者には賞状と副賞を贈呈。入賞作品は12月末まで市役所本庁市民課カウンターに展示されます。

◀市長賞
「ぼくたちで地球を守ろう」
阿蘇小５年
児玉　晴一さん

議長賞▶
「地球を守ろう」
一の宮小４年
後藤　祐風子さん

◀教育長賞
「草原がないている」
内牧小４年
牧　風歌さん

おうち時間で新聞づくり

新聞コンクール作品発表

受賞	学校名	氏名
最優秀賞	阿蘇小４年	田添　莉久亜（りくあ）
	阿蘇小５年	洲﨑　杏野（あんの）
優秀賞	阿蘇西小４年	湯治　健太（けんた）
	内牧小５年	吉川　健吾（けんご）
	阿蘇小６年	中川　華（はな）
	一の宮中２年	加悦　千晴（ちはる）
	阿蘇中３年	本田　芽衣花（めいか）

令和３年度阿蘇市新聞コンクールの審査会が行われ、７作品が入賞しました。市教育委員会主催の同コンクールは、家庭での時間を新聞づくりで楽しんでもらおうと企画され、市内の小中学校から２９８件の応募がありました。

10月25日の表彰式では、最優秀賞に輝いた田添莉久亜さん（阿蘇小４年）と洲﨑杏野さん（阿蘇小５年）の２人が出席。坂梨教育長から表彰状を受け取りました。

▲最優秀賞（手書きの部）
「ペットは友だち新聞」
阿蘇小５年
洲﨑　杏野さん

▲最優秀賞（パソコンの部）
「乙姫よかとこ新聞」
阿蘇小４年
田添　莉久亜さん

●相撲　（12.5／東京都墨田区）

第 34 回全日本小学生相撲優勝大会

橋本　義成（よしなり）（内牧小６年）

●マーチング　（12.11・12／埼玉県さいたま市）

第 49 回マーチングバンド全国大会

小池　夢空（ゆめあ）
（専修大学玉名高校３年／一の宮中出身）

10/26

地域福祉の向上に貢献

市内の３人に県老人クラブ連合会会長表彰

稲実チズ代さん（左）、江藤晃さん（中央）、藤井貴美夫さん（右）

老人クラブの発展と地域福祉の向上に貢献したとして市内の３人が県老人クラブ連合会から表彰を受けました。それぞれの主な功績は次のとおりです。

藤井貴美夫さん（大道）
市老人クラブ連合会波野支部長（10年）

江藤晃さん（古城１区）
平成17年に老人クラブの役員と立ち上げた演劇クラブ「一の宮シルバーふれあい一座」の座長。

稲実チズ代さん（古神１区）
新宮会会長（14年）

10/20

英霊を偲び平和願う

阿蘇市戦没者追悼式

戦没者追悼式のようす

阿蘇市戦没者追悼式が阿蘇体育館で行われ、遺族や市民など約130人が参列しました。

式では、阿蘇市遺族会連合会の山口司副会長が遺族を代表して「戦争の悲惨さ、平和の尊さを次の世代に伝えることが我々の責務。これからも平和のために力を尽くしていく」と誓いをこめた追悼のことばを述べました。式の最後には参列者が献花を行い、1162人の英霊に哀悼の誠を捧げました。

10/27

家庭教育支援に尽力

市内の２人に家庭教育支援功労者表彰

白石敬子さん（左）と髙木京子さん（右）

熊本県の家庭教育の振興に尽力したとして、白石敬子さん（分２区）と髙木京子さん（東仲町）が県教育委員会から家庭教育支援功労者表彰を受けました。

２人は家庭教育支援コーディネーターとして、子育てや家庭教育に悩む人たちを対象とした相談業務に従事するなど長年にわたり家庭教育の充実・発展のために尽力しています。その功績が評価され、今回の表彰となりました。

10/26

持続可能なまちづくりで連携

市・火山博物館・NEC が連携協定

NEC の石橋研二支配人（左）、阿蘇火山博物館の久木康裕理事長（右）

防災や観光面で協力しあう「安全・安心で持続可能なまちづくり」に向けての包括連携協定を阿蘇市、阿蘇火山博物館（久木康裕理事長）、NEC（石橋研二支配人）の３者で締結しました。

３者はこれまでも防災と観光の新しいサービスや、観光資源のさらなる活用など連携して取り組んでおり、今後はこれまでの取り組みに加え、環境などの分野も含めた時代に即した新しい阿蘇市づくりが進められます。

全国大会等出場者と結果

●自転車　（10.24 ／広島県三原市）

第 89 回全日本自転車競技選手権大会ロードレース

【女子マスターズ】
井上　美幸（Team UKYO Reve）

●スイーツ製作　（11.7 ／東京都世田谷区）

第 14 回スイーツ甲子園
高校生パティシエ NO.1 決定戦　決勝大会

【ペコちゃん賞】
島川　海音（慶誠高校３年／阿蘇中出身）

11/6 文化で繋ぐ阿蘇の絆

阿蘇市文化祭開催

仁惣太鼓を披露する山田保育園の園児たち

市文化協会主催の阿蘇市文化祭が阿蘇体育館で開かれ、11月6日・7日の2日間で約1000人が来場しました。

2年ぶりの開催となる文化祭には、ステージ部門に40団体、展示部門に13団体が参加。ステージ部門では日頃練習してきた歌や踊り、演奏など約60演目が披露され、観客を魅了しました。展示部門では会場内に書道や絵画、工芸品など約600点が展示され、訪れた人の目を楽しませました。

11/5 秋の味覚楽しんで

阿蘇ライオンズクラブがサツマイモ寄贈

あそ上寿園にサツマイモを寄贈する柴田会長（右）

阿蘇ライオンズクラブ（柴田肇（はじめ）会長）が熊本YMCA黒川保育園の園児と合同で芋掘りを行いました。

同クラブが社会貢献活動の一環として主催。園児たちと同園の畑で計800キログラムを超えるサツマイモを収穫しました。

サツマイモはたちばな園とあそ上寿園に寄贈。あそ上寿園の藤本基子施設長は「利用者の皆さまが喜んでいました」と感謝しました。

11/9 世界での活躍に期待

市出身石田さんが７人制ラグビー日本代表選出

ドバイ遠征に向けた事前合宿での石田さん（右）　©JRFU

阿蘇市出身の石田大河（たいが）さんが7人制ラグビー男子日本代表に初めて選出されました。11月26日～12月4日にかけてドバイ（アラブ首長国連邦）での国際試合に臨みます。

石田さんは狩尾1区出身の24歳。12歳のときにラグビーを始め、九州学院高校時代には花園にも出場。日本体育大学を経て現在はジャパンラグビーリーグワン1部所属のシャイニングアークス東京ベイ浦安でプレーしています。

11/9 火災を想定 早朝呼集

『119番の日』に消防団非常呼集訓練

内牧遊水池で一斉に放水する消防団員

11月9日～15日の『秋の全国火災予防運動』に合わせて、11月9日の『119番の日』に消防団非常呼集訓練が実施されました。

非常時における消防団の招集時間短縮や連絡体制の確認、機械器具操作の技術向上のため毎年行われている訓練です。実際の火災を想定して夜明け前の早朝6時から消防団がサイレンとともに各班の詰所を出発。指定された集合場所に駆け付けました。

11/10 サクラの花を楽しんで

阿蘇ロータリークラブが阿蘇医療センターに植樹

阿蘇ロータリークラブ（今村孝典（たかのり）会長）が、社会奉仕活動の一環として阿蘇医療センターに桜の木などを植樹しました。

患者や医療従事者に楽しんでもらおうと同クラブが企画。病院の中庭にヨウコウやヤマザクラ、カワヅザクラ、ツバキなど計17本が植えられました。今村会長は「コロナ禍のさまざまな制限の中で患者さんも医療従事者も大変な思いをしている。少しでも楽しんでもらえたら」と話しました。

今村会長（左）と医療センターの甲斐院長（右）

11/10 空の仕事いろいろ　日本航空熊本支店が阿蘇小で出前講座

話を聞く児童たち（左）（中央）、紙飛行機を飛ばす児童（右）

日本航空熊本支店による出前講座が阿蘇小で行われ、6年生が参加しました。キャリア教育の一環として、空に関する仕事を少しでも身近に感じてもらおうと県内各地で実施しているもので阿蘇市内での実施は初。

阿蘇くまもと空港などで働く現役のグランドスタッフ、整備士、パイロット、客室乗務員ら5人の講師がそれぞれの仕事について説明。きつい仕事を頑張れる理由について、整備士の林田康弘さんは「自分の仕事はこれしかないと思うから。皆さんも本当に好きなものを見つけてほしい」と話しました。パイロットの日隈嘉優（ひのくまよしまさ）さんは飛行機が飛ぶ仕組みについて紙を用いた実験を交えて説明。児童たちは「すごい」と歓声をあげました。

パイロットになりたいという髙橋心彩（こいろ）さんは「お客さまを安全に運ぶという話を聞いていいと思った。なりたいという気持ちがこれまで以上に強くなった。勉強をがんばりたい」と話しました。

開かれた市政を目指して　市内 11 会場で市政報告会

佐藤市長（左）、坂梨教育長（中央）、甲斐院長（右）

9月28日から10月26日にかけて、市制施行後16回目となる市政報告会を開き、市内11会場で709人の参加がありました。

市の財政状況をはじめ、新型コロナウイルス感染症の対応や市が取り組んでいる諸施策などを市長が報告。教育長による教育委員会の取り組みなどの報告に続いて、阿蘇医療センター院長が阿蘇医療センターの取り組みや阿蘇医療センターの現況、新型コロナウイルス感染症について説明しました。

説明終了後の意見交換には市長、副市長、教育長、阿蘇医療センター院長に加え、各部長、県地域振興局担当者も出席。会場からのご意見に回答しました。

「通学路の安全点検の取り組み状況」や「市の公共施設へのご意見」、「気象警報発令時の自主避難所の開設」「道路管理や道路整備」など、各会場からのさまざまなご意見は今後の市政運営に生かしてまいります。

全校で「学校情報化優良校」
日本教育工学協会が認定

阿蘇市の全小中学校が、日本教育工学協会が認定する学校情報化優良校に認定されました。

同協会は「教科指導におけるICT活用」「情報教育」などに積極的に取り組んでいる学校を厳正に審査し、優良校として認定。阿蘇市では1人1台のタブレット端末を利用した授業を行っており、その取り組みが評価されました。今後も「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実に取り組んでまいります。

◀認定証

タブレット端末の活用について研修を受ける教員

ASO 田園空間博物館（道の駅阿蘇）

車帰水源

私たちＡＳＯ田園空間博物館は、設立当初から「阿蘇の魅力を、そこに住む人々と共に発掘し、この地を訪れる人々にそれを伝えることでこの地の新しい未来を創造していく」という活動を続けてきました。

その中で活動の主軸となっているのが地域資源である「サテライト」です。現在、95のサテライトが登録されており、市民の皆さまとともに将来につないでいくための活動を行っています。

北側復旧ルートが開通し、県道を通る車の往来は減少しましたが、水の流れは昔から変わることなく、清らかな流れを見せています。

今回はサテライト№89車帰水源をご紹介いたします。

阿蘇市の西部、北外輪山の麓にある車帰地区の飲み水や農業用水として活用されているのが「車帰水源」。フェンスで保護された水源の場所は水深も浅く、透き通った水がそよそよと流れ、周囲の静けさとも相まって幻想的な雰囲気が漂っています。水源以外にも周囲の岩肌から水がこんこんと湧き出るようすも確認できます。そして象徴的な存在として、周囲２００メートルもの大きな池があります。毎分４～６トンとされる湧水が絶える事なく流れ込んでいます。現在は２０２０年に開通した、北側復旧ルートの工事の影響で半分ほど埋め立てられた状態ですが、２０２２年１月を目標に元の美しい姿に戻される予定です。

周辺には加藤清正が造り、江戸時代には参勤交代にも使われた二重峠の石畳や、その参勤交代の際の休憩所となった的石御茶屋跡などもあります。的石御茶屋跡は裏山からの湧水を池へと注いだ庭園で、豊後街道の中で唯一、往時の面影を残している場所です。夏になったら車帰水源を起点に各スポットを巡りながら、涼を感じてみてはいかがでしょうか。

周囲 200 メートルもの大きな池

水源はフェンスで保護されている

池には毎分４～６トンとされる湧水が流れ込む

コブシの木

池を道路側から見て左手、水上に大きく枝を張り出しているのはコブシの木。3月から4月にかけて、枝いっぱいに真っ白な花を咲かせます。風のない日には水面が鏡のようになり、そこに白い花が映し出される情景は一枚の絵画のような美しさです。もちろん、花を咲かせる季節以外でも、青々とした葉を付けた堂々たる枝ぶりは思わず写真に収めたくなる見事さ。

御神木として祀られているのが巨大な杉の木とヤマモミジ。すぐそばには水源を守る水神様のほこらも建てられています。一見5本の杉が並び立っているように見えますが、根元を見ると1本の木が枝分かれしているのがわかります。それぞれが天に向かって真っ直ぐに伸びている姿は、大自然の力強さを感じさせてくれます。ヤマモミジは樹齢約３００年。幹の周囲約2・8メートルの巨木で、紅葉の季節はその美しい姿に目を奪われます。そのほかにも地域で大切に育んできた自然に覆われ、四季折々のさまざまな表情を見せてくれます。

サテライト代表者の田口健一さん。ご自身も車帰地区の出身で、車帰水源の水と共に生きてきました。「今は遊泳禁止になっていますが、子供の頃はこの池で泳いで遊んでいました。水が冷たくて気持ちよかったですよ」と懐かしそうに話してくれました。

この池ではコイを飼育しており、例年6月ごろに地域で催される「さなぶり会」で食べるのが恒例だとか。「さなぶり会」は本来、田植えが終わった頃に行われる、豊作祈願と慰労を兼ねた催しだったそうですが、農家が減った現在では地域の懇親会として開催されているそう。清流で育ったコイは泥臭さもなく、鯉こくにすると絶品とのこと。水のキレイな地域でしか味わえない滋味（じみ）深い味。一度食べてみたいものですね。

■住所　車帰559

■駐車場　あり

■トイレ　なし

詳しくはこちら

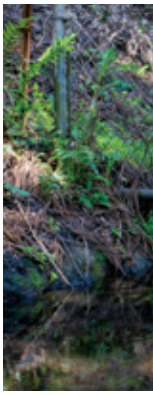
サテライト募集中！

「サテライト」とは、市民の皆さまが「地域の宝」として守り続けている自然、景観・風景、歴史・文化のことです。

ＡＳＯ田園空間博物館では、サテライトを募集しています。興味のある人はお気軽にお問い合わせください。私たちと一緒に元気な阿蘇を創っていきましょう。

問ＡＳＯ田園空間博物館
☎35・5077

スタッフ　フランク



Join us!

Vol.6 Ichinomiya E.S.

SCHOOL FOR EVERYONE

学校へ行こう、地域に学ぼう。

地域全体で子供たちの学びや成長を支え、
学校を中心として地域づくりを行う。
そんな**地域学校協働活動**について紹介します。

一の宮小学校

一の宮小学校では、「学力向上部会」「安全・安心部会」「心を育む部会」の三部会を設け、それぞれの部会が、地域や保護者の人々の協力を得て、特色ある活動に取り組んでいます。今回は「心を育む部会」の地域学校協働活動を紹介します。この部会は、地域の歴史や文化を学ぶ５・６年生の「地域体験活動」を毎年実施しています。ことしは、熊本地震で甚大な被害を受け現在修復作業中の阿蘇神社を見学しました。作業中の今しか見学できない現場もあり大変貴重な体験になりました。児童は、４グループに分かれて見学しました。

阿蘇神社の歴史

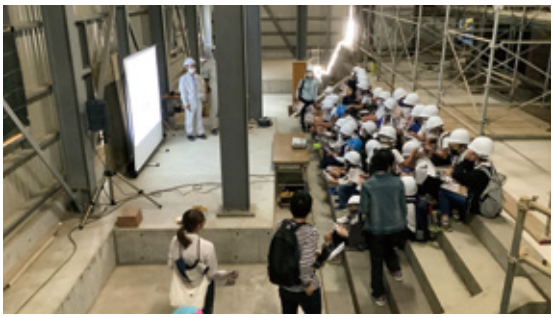
阿蘇神社の権禰宜（ごんねぎ）さまから阿蘇神社の歴史について説明していただきました。

神社内外の名所

一の宮小学校運営協議会の人から神社の色々な場所の由緒などを説明していただきました。

楼門修復状況を見学

文化財建造物保存技術協会の人から楼門修復の流れや楼門の彫刻の意味などを説明をしてもらいました。



修復作業を担当している宮大工さんから楼門修復の仕方や道具の使い方などを説明してもらいました。

みなさんも知識や経験を活かしてみませんか？

問 教育課社会教育係　☎ 22-3229

地産地消 Cooking! パッククッキング編

食生活改善推進員協議会

サツマイモの蒸しケーキとニンジンの蒸しケーキ

材料（2人分）

- サツマイモ、ニンジン…それぞれ中1/2本
- ホットケーキミックス…50gずつ
- レーズン…大さじ1/2ずつ　●水…50mℓずつ

…A

- ビニール袋（高密度ポリエチレン）

作り方

1. さつまいもは1cmの角切りにする。ニンジンはすりおろし、それぞれ別のビニール袋に入れる。
2. ❶にAを入れて混ぜ、空気を抜いて袋の上部を結ぶ。
3. 鍋に耐熱皿をしき、お湯を沸かし❷を入れて蓋をして15分加熱する。
4. 火を止めて5分蒸らす。

※パッククッキングの詳しいやり方などは、広報あそ10月号の地産地消クッキングをご覧ください。

食改員から一言

食欲が低下しやすい災害時にも食べやすく、ビタミンや食物繊維を補給できるおやつです。ドライフルーツやホットケーキミックスは常温で長期保存できるため、備蓄食材としてもおすすめです。

問健康増進室（一の宮保健センター）☎22-5088

asostagram

@shuuich.takahara さん撮影

#my_aso
#根子岳
#紅葉

市では観光情報や市内の飲食店に関する投稿など、インスタグラムで情報を発信しています。市の公式アカウント@asostagramでは、市で撮影した写真だけでなく、#my_asoで投稿された写真も紹介しています。#my_asoをつけて阿蘇を世界に発信しましょう。